

H 1.49

13 of 15

1944

67/14
C

ト。バズ秋祭リプログラム

九四年十月一日(日曜日) 午後七時半

於市公會堂

一收穫祭

宗教聯盟

挨拶及紹介

司會者

喉原 喜一

一農事部代表挨拶

松岡 亮作

二市参事會代表

橘原 議長

三ミナト州畜産科大學

(未定)

四農事部幹部紹介

大辻東太郎

餘興

司會者

小澤 久

一おあいお月さん

吉田いづ子、同美代子

二唄

加来アンナ嬢

伴奏、関(ミドリシ)水田(尺八)

三大原女

齊藤よし江、阿部きみ

阿部 きぬ

四唄

鈴木夫人

伴奏、関(ミドリシ)水田(尺八)

五、シンマゲ道中

阿部 節子

六、農事部出し物

日本牛踊

藤原夫人

三味線、長久夫人

新國籍法ニ関スルスペイン大使館ヨリ通謀

米國國務省ハ九四年七月七日附一六六號、E-X-1-300 I IIヲ以テ米大陸ニ於ケル日本國民保護ニ當ルスペイン大使ヨリ覺書ヲ受領ス、且最近議會ヲ通過セル市民權放棄及消失ニ関スル新國籍法ニ就キ質問スル上屢アリ、即チ、

(a) 此新法令ハ日本天皇ニ忠誠ヲ誓ヒタル日系人ニシテ米國市民權放棄ヲ志望スル者ナズ何レノセンタイニ居住スルモノモ適用スルモノナリヤ

(b) 如何ナル條件ノモトニ市民權放棄ヲ志望ガ許可サルモノナリヤ

(c) 市民權放棄ヲナセル第二世ハ直チニ敍國外人トシテスペイン大使ノ保護下ニ置カルルモノナリヤ

右質問ニ對シ米國檢事總長ヨリ、通謀ヨリ拔萃シテ回答ス、

本新法令ハ日本天皇ニ忠誠ヲ誓ヒタル第三世が何處ノセンタイニ居テモ適用サルモノカ或ハ又ツールレイキニ居住シ第二世ニミ限リ適用サルモノナルカニ就キ、

新國籍法(ハブリック法令第四〇五番、第七十八議會、第二面合、一九四四年七月一日通過ハ廣義義モデアリ且適用性ハ日系市民ノミニ限ラレテハ居ナイ、セハ九四〇年ノ

旧國籍法改正アリ旧法ニ於テ返逆罪或ハ軍隊ヨリ脱走ノ罪ヲ犯セルモノ等ノ場合ニ於テノ國籍消失ヲ認メタルモ、新法令ニ依ル戰時中ニ於テ檢事

總長が國防上利益ニ違反シナイモノト認メタル時市民權放棄ヲナレ得ルモノデアル

新法令ニ法化、至ナル原因ハ日系市民ニシテ米國市民權放棄ヲ志望スル者表セルモノ多數アリ又二重國籍者有スルモノガ日本國籍ノミヲ保留セント欲スルモノ

多數アルカラデアル、此新法令、適用ハ何處ノセンタイニ居住スルモノノミトハ限ラレテ居ナイ

尚ホスペイン大使、如何ナル條件ノモトニ市民權放棄ガ許可サルカト質問對シ、

各事件ハ個人別個ノ取扱ヲ受ケル、日本天皇ニ忠誠ヲ誓ヒタルモノニシテ米國市民權放棄志望者ハ各身ノ事件ニ就キ充分ナル理由ヲ示シテハ許可サレズ、法規ノ細則ニ從ヒ

指定セラレタル書式ニ依リ檢事總長が其ノ消失ヲ宣言スルマデハ有効デナイ、

此場合ニ於テ市民權ヲ放棄セル日系人ハ直チニスペイン大使館保護下ニ置カル

モノナリヤト質問對シ

檢事總長が承認ヲ宣言スルマデ市民權ヲ消失スルコトヲ、又二重國籍者ハ檢事

總長が米國市民權消失承認ヲ宣言スルマデスペイン大使館ノ保護下ニ置カル

モノデハナイ、

本法令ノ適用ハ充分ナル理由ナキモノ或ハ徵兵適齡者が兵役ヲ免レルタメ或ハ其

他ノ法網ヲ潜ル手段ヲ利用スルコトハ相成ラス、

今面米國國務省ヨリ市民權放棄ニ関シワシントン府スペイン大使館宛
送付セル覺書ヲ同封セルニ就キ貴センタイニ於テ本問題ニ関ベテ有
スル居住民ニ御傳ヘ下サレ度ク右通謀ス、

一九四四年九月十六日

在桑港スペイン國領事

エフデアマット

トバズ居住民御中

トバト大参事員会第三十四回公報
一九四四年九月二十一日午前九時開会
司会者：橋本勝蔵長

一 缺席：川口(34)村松(41)

二 出席者：会記録は承認さる。

三 文通事項(出)

1. 市会第三区宛彼等の提案に対する参事員会の判決を通知す。

四 文通事項

1. 市会第十九区地方徴兵局より飯田眼科医に宛する返事。

2. 市民協会公報

3. スベイン大使より市民権放棄に關する件。

五 行方

1. 他セラーより試許事項に対する協力に關する返事か未だ来てゐるを。

資金募集の件は月末迄上程する事を役員会より提案さる。

九月三十日迄に返事か入手する様、議長より各セラーに催促さるる事。

この提案は當場一致で承認さる。

2. 市民協会は会員の宛し書も太平洋沿岸に歸りて希望する者は

賃同書に書き入札を送り出す様、書状を送り出さる事を報告さる。

五区も同様の書き入札を送り出して民権擁護協会顧問并

護士ワイレン氏より要請さるる。

暫時的討議後遠慮は松平件へ判決が利する迄は願書を得つ

てに對するワイレン并護士の意見も聞きあつて新議案當場一致で決さる。

本日も護士か来月大審院に於て訴訟する件要領書を提出さる。

折トバト大の世も代表さるる様依頼する事に決定さる。

3. 参事員会役員会より提出さるる賣店純利益の割五分を公共役員会

に交付する案は持別會委員にも承認さる。

赤十字社会、将大、学生、資金委員、U.S.C.A.S.ハイスクール、赤十字會、

委員その他、同作の役員会、募集の目的で持別會会場に於て賣店

を開かれと報告さる。

4. 追悼式、詳細ある計畫を建て、府、市、区、各會、U.S.C.赤十字社

會、宗教所、監と共に聯合會を催する事に決定さる。

5. 参事員会役員会より、赤十字會、助手看護婦に病院、安附金中

より二那の、提呈し、同時に参事員會より復表出書状を送る事提案

され、可決さる。

以上

午後十二時十五分開会

解散

藤井美喜子

原案第一、第二、第三、第四條は原文の儘にて通過す

第六條は原案中の文字に修正を加へて通過す

第七、第八、第九、第十條は原文の儘にて通過す

第十一條は字句の修正を加へて通過せり

第十三條はWRAにて取り締まべき性質のもの解釋し原案を提出者より撤回する
年三、第十四條は原文の儘にて通過す

第十五條、刑罰に關する法令は修正を加へて通過す

第十六條、施行期日に関する規定は一般居住者に新法令の成立せるを認知せしむるためトバズ紙に併表し十月六日(月曜日)より之を實施する事に決定

VII. 自動車通交規則修正案を通過す

又夜間住宅区域に於ける居民所有車停車に關する規定追加に就て住民の副利に影響ありや研究を要する件なりとの解釋のもとに其儘保留と決定

七. 委員報告

ハ. コミティー基金

梅原特別委員より趣意書は一部印刷されて居るが全部は早速印刷して一般的に配布し得ると報告され、ボックスマネジャーを通じて各戸に配る事に決定

乙. 病院

先般発表されたる病院改善プログラムは着々進行され居るも人員不足のため満足なる解決に至るまで相當の努力を要す。居住者一般より支持と協力を望むと議長より忠告あり。第一歩として看護助手募集方法研究のため役員會を開催する事に決定

3. 労働問題

管理局によりて製作せられたる人員割當表並直業は去る土曜日の労働委員代表者會議に於て説明せられたると報告さる

4. 食料

華府より食料係官ハディング氏來所されにつき食料に關し参考となるべき事或は同い合せ度き事あらは申出でられ度しと報告さる

午後五時十分閉會

以上

梅原三代次代理書記

ト。ハズ参事員會第三十五回會議公報

一九四四年十月三十日午後一時半開會
司會 榎原 勝議長

一欠席 イ鈴木(10) 河本(11) 満手(14) 河口(34) 島本(36) 村松(41)

ニ文通發送

イ、ホフマン所長宛、運搬料に関する件

三、文通受領

イ、就働人員由整置に関する件

四、特別報告

都築参事員よりト。ハズ美術学校を代表して今回開催する大美術展覧會の試覽會を十月三日ブロッコにて開催することに就き出席する松安永内を述べらる。

五、前回の會議録承認さる

六、討議事項

イ新法安永

法律委員より、今面左記の新法安永が法務永委員會により提出されたる旨報告あり。

新法提出原安永左の如し。

- (一) プロゼクト及びセンター名稱に関する定義
- (二) センター内に於ける飼育動物に関する件
- (三) 殴打、脅迫に関する法令
- (四) 暴行加害に関する法令
- (五) 凶器携帯に関する法令
- (六) 飛道具、鉄鉋類使用に関する法令
- (七) 安寧、秩序紊亂行為に関する法令

- (八) 通入、出入禁止違反、家宅侵入等に對する法令
- (九) 圖書館保存書類に関する件
- (十) 汚物蓄積、放棄、安全防害等に関する法令
- (十一) 住宅区域に於ける事物投射に関する法令
- (十二) 他人の通入、利用に関する法令
- (十三) 敬言察官に對する不敬無礼に関する法令
- (十四) 集合場所に於ける不穩行為に関する法令
- (十五) 刑罰に関する條項
- (十六) 施行期日

通交に関する法令修正案

VII 病院車、消防車、敬言察車除例

住宅区域夜間住民所有者停車場に関する規定

議長より、罰金として文拂はれる金錢をセンター内に於て有無に使用さる道ありやに就き参考的意見を述べらる。

此時池田法務部長出席され、氏の説明に基き議長は議事の進行を討ち。

トバズ参事會第三十二回公報

一九四四年十月十九日午後一時半開會

司會 梶原勝議長

一、欠席、鈴木(10) 河本(11) 半田(27) 神崎(28) 古賀(35) 島本(36) 村松(41)

二、事項

1. 病院

議長よりスリス假院長が聯合調整委員会に對し病院問題に就き種々
を建設的案を提出されたと報告する。

ホフマン所長よりスリス假院長を参事會に紹介され次の如き忠告する。

(一) 餌食療養を必要とする患者が相當の数居らるゝので特別食料土
(ダイエツトケツチン)と設ける事、料理人(あれば即時用ゐれる。

(二) 退院して家庭で世話する者(独身者とか、入院の必要なくして療養食
出来る人、或はかり見る者)を老人等のために休養所を設ける事
此の目的のために病院の応宿舎を使用出来る。

(三) 入歯はWRAより無料で支給さるべきものである。機械及道具は早速請
求する。入歯是非必要の人は遠からず支給される。

(四) 病院運轉手に適當なる監督人が必要であり、又適當なる人数を以て
之に當らしむる事

(五) 病院管理に關するは日本人医師と院長との間が円滑に行ふ様 相談に加
ける事

是等忠告案は書状を以て所長宛提出され予定であり事實と般住民に榮
表する旨である。

兩氏出場後参事會に於ては病院状態改良のため是等忠告案を承認す
土曜日まで院長が歸所の予定であり且以上の案は来週まで公表されるので
早速各ブロックで會合を開き右の結果を報告する事に決定、各ブロックに定
せる情報を手へし、林聯合調整委員会が声明書と印刷する様依頼する

2. コミニティー資金

梅原参事員より特別委員会により起草された趣意書を朗讀さ
れ承認され、各区より二名の代表者と該委員会に選出する事を各区に
依頼する事に決定す

議長より該委員に梅原、高濱、村上、金子、竹内、咽原の名参事員
を夫々任命す。

3. 前面参事會議事録を承認す

以上

午後五時十五分閉會

翻譯 藤井萬寿次

トバ大参事員会分十八回公報

一九四四年十月五日午後一時三十分

司令者 楠 京勝議長

一 缺席：鈴木元金子(16)満手(近丰田町)青島(31)

二 出席：予会歳計銀を承認す。

三 突信

ハ六十九地方徴兵局宛飯田眼科医徴兵猶予に関する件

四 受信

ハ市民協会で試訴事件に対する外部団体へ援助の可能性に対する回答

2 ヒーウ暫住所方試訴事件援助に対する回答

3 市民協会で部方コルマ基地に関する通知

4 市民協会で部方比賀二等兵の満期日程通知

5 ワー、スベイン領事委員より前スベイン領事に提出せし質問に対する回答同封さる。

6 ウイレニア領事より西部沿岸帰還願書提出に関する氏の見解を吾々より回答せしに對する返答。

7 試訴事件援助に対するワリーキハートマウンテンにうかう返答

8 板倉ボイラミ監督より労働時間削減に関する明解に対する返答

会の助力を請願する。

五 行方

ハデニバー所長会議

ホフミ所長が参事会に出席。承次郎の如くデニバー所長大会の模様を報告する。

西部沿岸に吾々が帰還する許可は西部沿岸防備司令長官の意見にあるのみであるが、大会に於て主としてその許可が下つた時の用意の為種々の問題或は方針につき討議した。

2 公共資金

参事会幹部会に於て試訴資金募集を始めると決定す。

試訴に關する案附として一ヶ月或は募集金額より公共資金として三百円又或は保氏旅費として百十五円と差引き残額を民権擁護協会宛寄附する事動議と小協議一致承認さる。

午後五時三十分閉会

以上

解散

解

議

決

議

決

議

決

議

決

議

決

議

決

議

決

議

決

議

一、缺席者：中田(20)半田(27)楠原(30)川口(34)古賀(35)島本(36)

二、分六回、分三十七回、分三十八回議事録を承認す。

三、委員報告

1. 現在中學校教員先生七名、小學校先生十名である。

以て我々方との先生、教員席の場合、教授する、補教教授が必要である。教育委員は参事員より適當な候補者を推薦する事を希望する。

2. カリア院長が去る十月六日より向ふ二週間の休暇の間、ワリー・シーキよりスリース・医師が假院長として就任である。

後原医師は徴兵体格検査で合格され、けれども氏は猶予願ひを提出してあるので、今暫らく召集されぬ。

3. 労働者代表が所長を訪問せし時、彼は一九四三年九月三十日迄のオールドタイムを現金で支払ひ、以後オールドタイムを記入せぬ條件でワintonで認め、賃金(ふか)も知れぬと知らる。又十月オールドタイムは十二月一日迄に整理する事。

代表者はこの提案に賛成す。

又労働者

代表もこの回答に大いに満足し、將來の労働問題に對し最善を爲す事に決定す。

4. 所長が口述により各団体の代表にも將來計畫整理学会が組織する。所長が、メンバー大会に関し、特に吾々が西部沿岸に帰還するの能性について報告された。

5. スペンサー領事館より書記が吾々を日本滞在の親戚の名前をよく知らぬといふ理由で許可にその調査を拒絶し、この件はボドウィン氏に戻した。

四、行方

1. 転住小所者、その場所性、搬費は転住目的地の停車場迄WRAの費用で送らる。その後、転住者自身で支払はるべきである。この費用は多額に上り、且非常に時間を要する。WRAの費用は直接住宅に送る物を運搬し、費ふ様に討議する。提案を本当局と轉住委員が研究する様に依頼する。

2. 今年度も中學校卒業生記念会が英作成を許可す。

3. 湯沢村士が講演会を於て多くの不満足言を述べられた。轉住所内の吾々は不安を感じさせられ、これを報告する。

彼の講演に對し反響を促す事、新議案、両端一致で可決する。議長は須和岡、梅原、鈴木各参事員を特別委員として任命する。

午後四時三十分閉会

解散

藤井芳壽氏

以上

トバズ参る委員方三十回公報
一九四四年十月十日午後二時半
司会者：楠原勝義長

一 缺席者：鈴木(10)吉賀(35)島本(31)高橋(41)杉松(41)
二 受信

1. 山口参る会中試許に關し、協同運動に對する回答、
2. 鈴木方十三参る委員辭任提出、
3. ターナ徴兵係より徴兵に關する件、
4. ホッピン所長より市内の物販達に關する見書、
5. 宇治州徴兵上告係へシゲソン氏より飯田眼科送る徴兵猶予に關する件、

三 旧行より

1. 公共貸員金

方三十九元とある共進会賣店賣上純益金の二割五分なる
松武丹三十四仙を公共貸員金に編入するを報告する。

猶大貸員金委員は純益金の二割五分を公共貸員金に編入する
通知に接しておかぬ故、矢張り会幹部は金益を猶大貸員金
に編入するを提案し承認する。

公共貸員金募集は若路久保氏へ旅行費として百十五円以外
は氏の事件とは何事直接関係はあらずと一般に知らざる提案
する。此件につき明日午正一外半より若路久保氏と外交委員及法律
委員が会見する。協議長より依頼する。

2. 市内荷物販賣

ソートレーキデムタ煙搬会社から以後販賣を取扱ひ、五号からその取扱
用を支払はねばならぬと報告する。

トバズよりデムタ迄毎日荷物自動車か通るため、故、その運搬に
この自動車を使用するを提案する。

五号の提案を当局で取上げて貰ふ様依頼する事に決定す。

3. 助教授

中京城助教授の取扱格は大学三年修学又小中城助教授は
中京城立十世である。

彼等は確定した任る間、故半日分の給料を貰ひ、在し
普通指定の時間働けば普通の給料が貰ける。

先生募集の件はブラウマヤの協力を依頼する事に決定す。

4. 鈴木不冬より委員辭任

鈴木氏辭任の理由が薄弱なる故、議長と副議長は鈴木氏
と会見する事を決定す。

午後五時閉会

総記

井井美事記

以上

トバース多子員会才三十一回公報

一九四四年十月十六日午正一四時

司会者 榎原勝 議長

一 缺席者 溝手(19)半田(27)古賀(35)村松(41)

二 受信

1. 才六十九地方徴兵局より飯田眼科医徴兵猶予に関する件

2. 市民協会公報

3. 奨学員会委員会より山手氏より会計報告同封する

4. ベッド当局假弁護士より多子会より承認する十八個の法規を勧告する

5. ポストより試許に関する意見を回答する

三 旧行する

1. 公共改良金

井路久保氏の試許する件が個人的事件であると発表されてから日を経るや
会はこの件を別個に援助する事は不可能である

個人的である全日京市民に影響を及ぼす総ての試許事件に對し

トバース住民は援助する事は協同一致で決定する

公共改良金募集第一案として各グループに約五十邦づゝ割当する

提案する、先づ改良金募集の第一歩として理由書作成を為

特別委員として議長より梅原吉積、竹田、都築、咽原、高橋人

各多子員を夫々任命する

2. 病院問題

カリリア病院院長不在中スリス医師が假院長として此処に就任

してあると発表する、氏は病院問題解決を為大作当地に來て

あるとある

3. ボイラーマン

ボイラーマン達は彼等の仕事時間削減に関する当局との交渉の解決

を多子会で援助して裁く事を提案する

議長及び労働委員はこの件を当局と討議する

四 新行する

1. 才斗判四非委員

該委員として唯二名残るゐるが、次集会に於て各多子員が候

補者を夫々提出する様に依頼する

2. コールマ基金地

コールマ基金地が税金支払急慢の故、才三者に賣られゐると報告

する、関係者はこの件に関する関係者大会開催前に解決方根

調査を為カルデン非護士の意見を待つておられる

この件が最初多子会を参照された後、以後この件は周知してはこれ

関連せる委員は善意を有する様全権を委ねる事に決定する

午後五時十五分開会

以上

市参事員労働委員会には本問題に關し得たる總べての情報は
各従業員に通知し度き希望である、従業員の質問に對して
管理局より回答、或は又センター内の労働に關する諸種の重要
問題に就て従業員全部に御知らせ申す必要があると信じます。
尚ほ委員會は各ユニットの代表者が土曜日午後一時半からの
集會に御出席下さる様に御願ひ申し上げます。

トバズ市参事員會
労働委員会

委員長 K. 順和田。

問。本年度最初三月分のオヴertimeは何日頃拂ひ出しますか。

答。現在拂ひ出して居ります、四分の三は支拂ひ済となつて居ります。
(八月二十六日現在)

問。各自働人のオヴertimeを毎月報告する事が出来ますか。

答。経理部(コストアカウンティング)に、毎月末、各働人のオヴertimeを勘定して之をセクションヘッドに通知し賠償休暇の手筈をする様、注意する事にしてある。

問。オヴertimeは早く支拂ひて戴き度いものですか。

答。フィナンスセクション(會計課)に於て或るく早く事務を運ぶ様に居るが何分人員不足のため、少しく遅れるかも知れぬ、九十日期限終了後、どれだけの期間内に全部支拂ひが済むか確定した答は出来ません。

問。従業員が病氣休日の場合、残餘のクルウは餘計に仕事をすることになり、其の目的にて増員を代りに入れる事を許されて居ると思はれは之はオヴertimeの理由となりますか。

答。入の働人が病氣休日を取る際、残餘の全部のクルウがオヴertimeを得る理由とはならぬ、各自個人の件に就いて考慮する必要がある。

問。他の部門へ移動する際、オヴertimeが無効となるとは其の意を得るが如何でせう。

答。他のディヴィジョンへオヴertimeを移謀する事は出来なく、けれどWRAの依頼にて移動した場合は此の限りである、無期転任、季節出所、兵役入隊等の理由で出所する人には一九四四年一月一日からのオヴertimeは支拂ひ、メスの仕事に於て土曜日午後及び日曜日と同じ様に働く必要あり、人に就き四時間或は夫れ以上のオヴertimeを必要とするが如何。

答。之等のオヴertimeは前以て申請をなすレスパヴィジニングヘッドも承認を得て置く必要がある。

問。會計課に於てオヴertimeの支拂ちヤキの上に就働日数と支拂率を記入する事が出来ますか。

答。オヴertimeの日数を記入する事は出来るけれども支拂率を記入する事は現在の如く人員不足の場合時間を費すからチャキ振り出しが遅れる事に於ける。

尚ほ参考のため支拂率は次の通りである。

十六弗給 ————— 一時間約 八仙五厘

十九弗給 ————— 約 拾仙位

問。或る農園働人の件に就き四月以後のオヴertimeに百二十時間の差違がある、何故に報告にそんな差違が生ずるか。

答。右の様な事件の調査に關してはもつと明細な情報が必要である。

五十四年度オヴertimeに關し管理局より得たる情報

オヴertimeは蓄積する事が出来るけれども其の賠償休暇は就働月末より九十日以内を利用する必要がある

「其の一例」

例へば従業員が八月中に十六時間のオヴertimeを蓄積したとする。若し十月末までに賠償休暇を取る事情が許されない場合に於てセクシオンヘッドよりの理由と所長の承認のあつた時、十六時間に對し金銭を以て支拂ふ。

特別の事情を除きオヴertimeに對する賠償休暇は九十日以内を使用すべきものであるが、九十日過ぎても其の儘になつて居る場合にはセクシオンヘッドに之を通知し、セクシオンヘッドは何故に休暇を支へる事が出来なかつたか其の理由を報告する。其の理由が所長に依りて承認されたる場合には會計課でペイロールを用意する。

ペイロールに差支り違ひのあつた場合には直ちに會計課に申出て下さい。實際の事件に就いて調査をする。正當の理由を承認されたるオヴertimeは支拂ひます。

質問に對する答

問・オヴertime記録に別個の用紙を使用しない部長があるが正式の方法如何。

答・オヴertime記録には別個の用紙を使用しません、別個の用紙はオヴertime申請のため用ひられるが働いたオヴertimeは毎日の就働記録と一緒に書き込んである。

問・若し或る種の仕事に對し十人の働人を必要とする場合、例へばガデクルウの如き一八人しか働人を得る事が出来ぬとするれば之等の八人はオヴertimeを働く事になるか。之は正當なるオヴertimeの理由となりまうか。

答・若し十人を要する仕事に對し八人しか得られぬ場合にはセクシオンヘッドが之等八人に對しオヴertimeを支へるべきや否やを決定する。働人を得られぬ期間と仕事の重要性を考慮に入れらる。

問・或るケツチンには二十八人以下のケルウがある、二十三人或は二十六人等の数で中には老人や婦人も混在して居て充分な能率を挙げける事が出来ぬ、小人数でケツチンを切り廻すにはオヴertimeの必要がある、之は正當なる理由となるか。

答・ケツチンへの不足は必ずしも機械的にオヴertimeの理由となるとは限らぬ、此の種のオヴertimeは個人的に檢統する必要がある、ブロック住民の人数、働人の年齢等其他の事項も考慮に入れらる必要がある。

問・コミッサリーに於ては土曜日午後及び日曜日も働くが之はオヴertimeとちるか。

答・若し土曜日午後及び日曜日の就働が普通規定仕事時間割中に含まれて居るとすれば他の週日に休暇を支へるべきである。

一九四四年九月七日午後八時半開会
司会者： 楠 原 勝 蔵 長

一 秋席： 講手(河川) 34(片岡) 37(村松) 41(松尾) 42
二 前参り会記録は朗讀通り承認
三 文通手頂(出)

一 各セラー宛 試祈の件に對し協力一致の件
四 文通手頂(入)

一 矢野の夫婦より感謝狀
五 旧行

一 各参り員は出来得る早く試祈の件特に諸久保氏の試祈の件を充分住民に報告する様に依頼する

二 参り員缺席の場合間違ひなく傍聴者を送る様に各参り員に依頼する務支配人は総選挙委員と協力元は出来得る早くセセ及びセ十四区に参り員を呼んで貰ふ事に依頼する。議長は六区住民が代表を送る様に説き附ける様に依頼する。

三 総選挙理より方十三区は特別選挙を用く様に依頼出来る様に依頼する。雄氏の辞任は正式にセセに於て承認する。

三 荒井氏の折リテ送還族が行く小まのセセのAより二台の自動車を提供される事を提案する。法律委員は故花村氏の故に因連した自動車の持主を調査する様に依頼する。

四 五台の友人よりセセの陸軍長官、セセの西部沿岸防備司令官長官及マヤ中央局々長宛文通と貰ふ最善の方振は、セセのセセ参り員で起草された様お手紙を使用する事に決定し、この手紙はこの目的に便する人々に公表する。

六 委員報告

一 方島教育長より教育部で勉強する或食堂を開放する事を計畫とありと報告する。又、方州で三百五十名も教師が不足とあるを、トバに教師を増加する事は困難である。現在ハイスクール先生は唯十六名で外の却同に働いておられる先生は出来

る方々を個人訪問とおもひ報告する。

二 議長よりAと個人徴兵猶予は出来兼ねると決まると報告する。若し眼科医が参り員である場合は、Bかその代理を探し責任があるが如何程急に代りかまらぬかは約束出来ぬ。参り員より飯田眼科医の徴兵猶予を直接彼の地方徴兵局に願ふ事に決定する。

三 須和岡常務委員よりボーラー働人の仕事時間を二時間短縮しやうとありと報告する。又人の希望を仕るに對する手當を昇げよう。労働委員は努力とありと報告する。若し労働者代表会に於て一九四三年のセセタイムに對し、確か不居者を要求する事に決定する。

四 年店セセ以後催す野外パーティーに白人監督の必要の件を取り除く様公共安全委員に依頼する。

五 竹内町住委員より陸軍の労働者募集役員が今九時より金見する為に来所とありと報告する。軍需品貯藏の労働者が多数入用で一世でも大一般度及住宅は保障され、貯藏所の大作の設備は野住所と同じである。平均収入は一月二百円少し超越し、一週四時間では定時外は一倍半の給料が支払われる。

二十六才以上の男子は徴兵猶予され、議長は矢野、竹内、神崎各参り員に陸軍士官生と集会に出席する様に依頼する。

七 新行

一 議長より農事部で九月三十日十月一日の職員会の計畫を進めておると報告する。

二 副所長の計畫では中参り員と農事部が聯合主催者たりとありと報告する。希望主とありと計畫は、会場一致で承認する。又指導委員としてブランクミヤ

農事部、C.A.S.情勢組合、参り員が提案する会場一致承認する。

議長副議長及外交委員長が参り員を代表する事。

若し会場で基金募集、プロラムを催す場合純収入の半分を公共基金に編入する案も提出する事に決定する。

午前十十一時十五分開会

以上

トバ大参事員会第十九回公報

九四年九月四日午前八時半開會
司會者 楠原勝義 長

一 缺席：瑞子(四半田一)大野(一)

二 前参事員会記録は朗讀通り承認さる。

三 文通事項(八)

1. 芥三十七区選挙委員より出たる寫片同喜加永氏を紹介さる。

2. 芥三十三区選挙委員より出たる寫片同喜加永氏を紹介さる。

四 行方

1. 参事員会役員会はA.C.I.I.に協力と援助する事を全日本人団体に依頼する事に決定す。当センターより算出決定及びその役員会募集を開始する。各日五場一致で承認さる。

2. 落久保氏は試訴の九月九日ソート市に於て陸軍士官評議員会に本頭上ルより定めてあると発表さる。

3. 落久保氏は旅費が必要に参事員会は経理的に之を援助する事を決定する。此の旅費を支払ふべきであるに注意され、この件は他の試訴の件を経理的に援助し、該費用も住民の解の元には払い戻さる。

動議され、三場一致で決定さる。

落久保氏より出たる件は自分名前ではあるが皆の件であるを説明され、彼は戦後に此を明解するに記録を残す事を置きたいと述べさる。

2. 所長より特別委員に對し、今回の歯科職員消滅は三月前発表されたものであるが、今参事員会では落久保氏に歯科医の免職は同じくは以上出来ぬが、現状維持に於ては努力する事に決定され、芥三十三区所長はこの消滅を歯科医は解する事を参事員会は今分かつてを決定した。

3. 現在唯一人の眼科医が在るが、彼は五区より彼の徴兵猶予を願ひ出さる。かつたものは、軍隊に召集されたと報告さる。

所長の了解の元は彼の徴兵猶予を願ふ事、三場一致で決定す。

4. 参事員会役員会より、参事員会に会談する項を修正する四名の委員の案を提案され、三場一致で決定さる。

議長と副議長はこの四名を任命する事。

5. 總理選挙理より、教名の参事員会より芥三十三に出頭し、参事員会と芥三十三を勧める事に勧告されたと報告さる。

この件は芥三十三区参事員会は充分分かつてを思ふと同時に、芥三十三区より何れも参事員会を出さる様に開路され、芥三十三区に總理選挙委員を通じて代表を送る事に依頼する事に決定す。

芥三十三区十五分団会

記録

芥三十三区参事員会

以上

一九四四年八月三十一日午前十時半开会
司金看 梅 聚 膳 議 長

三人自三四月方文同記錄は訂正有り承認した所無きもの合記録は朗廣通承認す
三文通承頂一本

矢野に夫婦に對し兩者結婚を祝す。

1. 日京市民協會公報

2. 不相婦人步老年病院陸軒午古以乙現在乃若年輝軒午口捏一併

3. 第三十七區戸田参之助員より解任状提出する。

4. 佐々木 副所長より留学中の佐々木氏を公共管理假部長に任命する。

5. ハートツリテシ参多々會より太平洋沿岸の友達に文通する一案の起草文を同封さる。

6. キニ下へ
哲士より、つぎ所長宛の一九四四年一月より二月迄の参事會報告を同封する。

7. 依伯氏より入江あり

五
八. 廿三 王已選奉 奉世員より新選奉う古如順太奉う員を紹りさる。

1. WRA 委員会係、本邦の民が参るべき出席者、本邦に力参るべき組織を詳細に

說明さる。ミニネにカキの今白キヤニ。金作より。筆をふたせ。名の参る員であつて。

おる。總選考には名づつ、タナニ名づつ、推選考は三十四名推選考。

ブルジョアは各ブルジョア二名づゝの代表で組織されてゐる。又々々々々例會は一個

一度開かれ、次々分會とつらう、理會の聯合會は一月に二度位會合する。各々

眞に必ず教育、保健、食料、労働、公共行、外交各委員の委員長とす。

各々その
程には必
ず上委員
に於てお
る。之を
合議長は
問題に起
つた時

に幹事及委員の問題に關するに委員と共に所長と意見する。

キニル紙が、多くある生民の問題を討議する佳の図柄である。故郷人齒利衣の首具へ

件ヲ後主民ノ負ニ有テ精チ予ノ考メ人云所長ニ注意スルべきである。

カアノ病院長の就任後、
カアノ病院長の就任後、

長官職の提議を主として充分承認し、二年の満期より互に上程さる。

3. 三條文作止對料迄及平氏九月一日免職とちつたと報答さる。ワ平氏宛受

職貢有威在金加承恩以報告在之後一承後工事上科三

[illegible]

有
 反
 三
 人
 五
 上
 重
 二
 幾
 負
 消
 或
 置
 の
 足
 月
 一
 人
 三

已也に参り金出の度して三聯真詣所の形由を後明して貰ふ事には決意さ

ホフミ所長と予所の事を見出せる程に予所十二の所会す

續
之

午二時一十分より芥子園公報會再召集さる。

4. ホフマン所長より、この歯科医消滅は去る六七月頃命令されたものである。

その後教回フレントと電信往復の後、ホフマン病院院長がトバーズを先週

訪問されて以来、上座延べからずと申渡された。現在の新制当は四名の

歯科医と二名の技師である。故にホフマン院長が今度の職員消滅をした

のである。この消滅は全セクターに平等の奉仕を興へる為である。

医師、歯科医等の数は医師の採用の可能性及生所者にも関係する。

フレントの命令では専門的奉仕は命令である。由、融通性があり、それ故にこの

莫を参る会に理解し、世に不愉快ホフマン所長より懇願する。

ホフマンも総入道は道具の設備が出来得適度で病院で作製する

す。か出来る二學生部は之は何等関係あり。

ホフマンの理由をゆきたる後、参る会は免職の通知が今より急であり、且又現山

ホフマンが治療を待てる故、二人の免職を延期して貰ふ事を決議す。

この件を所長に談判するべく、議長と保健委員に依頼する。

5. 会議中に今より、議事録を注意する。故に特別委員を任命

し、議事進行を研究する事を提案する。

この件は役員会に於て研究する事に決定す。

6. 公共資金をつくるに最初、消費組合の請求者あり、制皮金も請求

する事に決定す。

是松遠原の件に於て、A.C.L.U.の方では五千円から一万円が必要であると

説明する。この件につき他のセクター及外野日本人団体と共同で

A.C.L.U.を援助する様外野日本人団体は又通する様勧告する。

この件は明日の役員会に於て更に詳しく研究し貰ふ様に決定す。

午後四時三十分閉会

以上

芥子園公報

芥子園公報

一九四四年八月十四日午前八時半開会
司会者： 榎原勝義 議長

一 缺席： 榎原（退）半田（退）神崎（退）川口（退）戸田（退）須和田（退）打板（退）

二 出席： 本会記録係は朗讀通り承認する

三 文通： 三項
1. ホツミ所長宛病院長ホツミ氏宛轉職を報告す

2. 日赤市民協会の日赤兵士戦死傷者の記事と太平洋沿岸地方新字に
火元表す件

3. 市民協会のセウノ内の日赤市民より市民協会は松原道平西の件に関
し全二世を代表する件

4. 山手消費組合理事長長より松田氏聯合送別会感謝状を呈する件

5. 山手消費組合理事長より屑焼に関する件

6. 山手消費組合理事長より屑焼に関する件

7. 山手消費組合理事長より屑焼に関する件

8. 山手消費組合理事長より屑焼に関する件

9. 山手消費組合理事長より屑焼に関する件

10. 山手消費組合理事長より屑焼に関する件

午後十二時十分閉会 午後二時再会

1. 病院状態能心を改善する為に参事員会より提案したにも係り終りの
苦情があるを報告する。トバノ大参事員会より院長を轉職する要求の件に
おきける参事員会に強く吾々の要求を押しつけるに決定す

2. 市民協会の参事員会を通じ是松原道平の件に關しは市民協会の
全二世を代表する二世団体の承認を得る事を依頼する。而るに参事員
会に之を試すに對しは出来得又の援助をする事に決定しおる

3. 説明する。市民協会の役員金が缺乏しおるを経費的に援助せ
ばならぬと述べる。請求者より割戻金を公共役員金として得る可能性
がある故に議長より外交委員が之を研究する事に依頼する

六 委員報告

1. 田和参事員より、トバノ大参事員会に於て食堂に金庫府田題した野澤
を配産する不平があるを報告する。WRAにせしめるに、或種に
おきける参事員会に強く吾々の要求を押しつけるに決定す

2. 高浜教育委員より生徒が政府の所有物を破壊した場合には最初
の時は少年理事会で処理する案を提出し教育職員の方では賛成
されたと報告する

3. 他参事員会記録中に立退者は皆被服料を貰ふ権利がある
と云ふ記事があるを述べたに、之が事實であるかは五回も研究する
とある

七 執行

1. 若し教育委員の提案の方法が正しいければ生徒が政府の所有物を
破壊した折に少年理事会が一回判罪を収めらるは承認する

午後四時十分閉会

以上

一 敬席：敬請(13) 神崎(28) 川口(34) 二行

二 議長よりWRAの病院係長トムソン氏と会見し、病院従業員の苦情も

説明し、特にカリアー病院長の缺失、数々をトムソン氏に提出した。

トムソン氏からカリアー院長に九月日頃より休暇を興へる予定であると報告さる。

過半数の委員は署名者を取らざるに賛成なるも、当局より五月に返答の

ある場合以外には便口水といふであらう。

カリアー院長の協同の見込ある故、当センターより永久的休暇を興へる可く

勧誘され、場一致で可決する。

三 本スクリン記念堂と史蹟委員から残金七千円を募集したと来る消費組合

主催の趣味展覧会が折、アイスクリーム皮氷を賣る許可を希望する、

この件は賛場一致で許可する。

四 特別委員よりC.A.S組織改革中にある顧問会員は二名、参事員

二名のづつ、タフネダ、二名の教師、四名のづつ、見立北指導委員、二名の

消費組合員、二名の宗教師、血代表組織する事も提案する。

又五名の信託処理する顧問員中も選定する両案は賛場一致で

承認する。

五 議長より三名委員が落久保氏の事件も含め、試許を援助する為

に参事員会が資金募集を始め、この報告された報告する。

特別委員は次参事員に於て委員の研究に詳細に直して報告する様に

依頼する。

六 議長より去る土曜夜九時十分セリ内大街で一老人が荷物自動車

に打たれ即死したと報告する。

翌朝午は参事員より来る自動車、電気が遅延車の眼を強烈な光で

輝し見えなく、彼から老人に気がつた時は自動車が一瞬内射

三千五哩の速力で走つてわたる避ける間がなかったと説明された。

七 故梶原信一参事員の追悼式が九月四日催さると発表する。

高遠が九日参事員は参事員会を代表する様依頼する。

午後十二時六分閉会

解散

三井物産会次

以上

十バ六参事会分三三回公報
一九四四年八月十四日午前九時開会
司会者：橋本勝蔵長

一 缺席：世

二 前参事会記録を承認す
三 文通事項(大)

1. バック・カニヤ九七地方徴兵局宛飯田眼科医の徴兵猶予を懇願す。
2. 片岡嘉永カニヤ三七参事員より転任の理由を辭任提出さる。
3. 片岡嘉永カニヤ三七参事員より職責訓練の必要を説明さる。
4. 市民協会の公報
5. 市民協会の参事会への協力を感謝し、合計報告書を同封さる。

五 旧行

1. 議長よりカニヤの病院患者は全部昨朝病院に戻された故カニヤの方より要求は取上げられた解である報告さる。
所長よりカニヤ院長の轉職に關し否定の返事があったので、当局がカニヤはこの件を強ひる事と云ふワレントンは依頼書を出す必要がある事に決定す。
2. 市修作物持の覽会委員より、持覽会場に於てハット・トグ・氷玉を賣る公費資金を募集する事を承認された報告さる。
一筆として各団体に資金をつくらず目的の賣店を開かす事、又他を案として金収入が公費資金とある様に参事会が責任を持つ事、これを明日の参事役員会に於て更に研究する事に決定す。

六 委員報告

1. 神崎公共安全委員より金武の防大團口十月台より十留迄である事に対して、カニヤの金協力を要求されたと報告さる。
委員より市公金堂附近にもより一電気設備をする様に提案したり、議長よりカニヤ七村以後セラー外の値に對し白人附議者の必要は云々云々と発表さる。

七 執行

1. 片山氏からセンター内で仕事中に災難で片眼をやけたと報告さる。
奉仕委員は彼の生涯手当或日保険に關するWRAの方針を調査する様に依頼す。同時に山田光安両氏より件を含めて調査する事。
2. 教養委員より政府の所有物を破壊した者を罰する規則を参事会に定めると云ふ報告さる。
議長より当局假令護士なども同提案を参事会宛来ると報告され、法律委員は此件を研究する様に依頼さる。
3. 参事員支那人より犬の手で注射をうけた犬の住主に対し通知がある迄犬を家内に閉鎖するまで、橋本令令金とあるが現在今尚その必要があるかを参事会に決する様に提案さる。
4. 狂犬病は空中傳播する力がある事を報告さる。
犬が狂犬病を伝えた場合、カニヤ子供は咬みつく、その時カニヤ子供に注射をうけた犬は口輪をつける様に提案され、委員一致で決する。

午前十一時三十分閉会

記録

橋本勝蔵長

（缺席：高遠（土片岡）37）
二行

1. 議長より去る土曜午三名の男子二名の女子患者と出行出来り方三
已に移動したと報告した。便所及水の設備がとれた故。議長より依
頼と土曜夜トフン所長 に実場を見て貰った。所長は矯正の必要を
認め出来得た早くこの状態を矯正する事を約束した。けれども月曜日迄
何も出来ない。

カリーア院長は入女子患者に因りては間違つておたと白状されて、土曜夜
病院に送り戻された約三十名の患者が自家（？）帰り来た報告する。
この急遽の処置は免許看護婦及助手看護婦不足の爲である。
日本人医師は適当な器具及奉仕が乏しい。條件の元には移動は禁
成されたが、これが人食する時に大いなる苦痛を感ずる者二人が援助とある又で
何の器具も乏しくおた。

現状を調査する事と決定し、全参り員現状を調査す。

保養所の設備が出来。此病院の宜い伯令に直ちに彼等を送還
する事も当局に依頼する事。湯一政で決する。芥二に適當な器具及
清潔且適當な附添人を用意する事。芥三にカリーア院長の轉職
に対する確答を請求する事。決議する。
午二時半より所長と会見する。為午前十一時五十五分閉会。

午 二時

議長よりトフン所長を紹介し、三つの質問を提出する。

トフン所長より唯四名の免許看護婦で約八十名の患者をおると説明
する。病院に於て訓練された看護婦不足の爲、この急遽の行動は一時的
のものである。カリーア院長は現在病院にある大の人手で現状を処置
されたのである。この状態を暫時行かばあらぬ。器具奉仕の相
應の莫は院長により決定される。現在カリーア院長を轉職或は
移動する事は許可出来ないと決する。

トフン所長より参り員及住民は保養所（？）には何とも関心がかつた
と述べられた。参り員は三つの件につき何等相談されておたと説明する。

芥二に所長より芥二の一般問題解決の爲参り員との協力を懇願する。
芥二にカリーア副所長より彼等から彼等患者は厚生を以て適じと報告する。芥二に
芥二と報告する又合調会堂も料理人二名見たり方芥二に合調会堂で用意
される。おまふ件には参り員との相談にあつた。おまふは参り員であった。
当局者からの報告後参り員会では、当局の宜い共同問題に對し、もつと
協力と美小あつた。住民を代表する事又行動する事か困難であると
発表する。

2. 軍部の費用で不十分な州の軍部軍需品貯藏所の調査に二名を
派遣する。その陸軍士官も提定する。

参り員は此に異議ある人より新任する務所の方で代表を派遣人で
世帯から決する。

午二時四十分閉会

以上

一九四四年九月十八日午十二时开会

司會者：樞臬勝議長

三
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

三文通子項

1. 丁子醫師後援會の紀五巻の事情説明報告

乙 方二十三區 宛四者名書法求

又、所長宛葬式に因る提案

四文通子項

1 亦七已 醫學委員 秋矢子員 柳氏を紹介さす。

乙方三十七區區長李松茂、秘書長李松茂、
鈴木氏、紹介、

3. 分八區及四十一區之食堂開鎖仁園多提案

4. 丁ツミ所長より所長との会見に於ける参る今代表二要求する。

5. 杉山 延 師方卒業證書を授け、手看復婦姓名同封さる。

六百三十九號，拾伍分

五行

1. 嘉久保氏より去る欠曜口スアセルスで四時間、陸軍士官学校を卒業した。

と報告する。現在軍に五里の必要があることは明白であるが、これは個人的に取

扱はれざるものがある。ポンステル西部沿岸防衛司令长官が判決を定む。

為九月三日迄裁判審問合は延期されてゐる。

此諸久保氏はロスアメンス・パサデナに於て張山夫人に逢ふが比白非常に親切で

親一みを感じぬ氏か木戸亦復士と共に幾多の公其地を所同さぬたけぬとも

一度は悪感を受けちがつた。

民権擁護協会は毎月約三萬円の負債とありつゝとつて低くした。トズ

住民は経済的に近々協会を援助するに志をもつてゐる。これを報告する。

遠藤是松子件は十月に試験あるを氏より來りて又早く之を金堂

集玉同始末様参り眞に懇心情さる

サ落久保氏は計畫を持てあるを、住民が氏の試訴事件に対し如何程の

趣味を持つてゐるかを知り度く希望さる。

2. 分三十三区は今回の病院請願書に対し理由が充分であらう故に四者名しふ

と報告さる、又分三三三よりカアリア、院長と聯の理由とある提案をさへしも

冬今で受け入れられず

3. 各センターに試
みる件に対する協力依頼文通に対し、未だ返答する返り

に接し、あつと報告する。当地に於て改定金算集を盡した所始り

参事會で承認し、詳細の計畫は役員會に依頼する。竊て、可決

次に役員会で更に研究する。この勸諭は、大正十三年の秋に杜成

ひの決さる。

九月二十九日

竹葉青後功
方二决
定心
之十
聖因
王收
員八
三二
上

六、
世
貝
反
上

人スベシ大更方ハAに白糸に見
我ある曰人々名を問蓋す

依頼して来てゐると報せさる

不ハシ縣合志委員分會ニハ
調査を援助す。又承認さる。

大德和國方勸業員友方勸者代表商人之
一九四三年十二月

多々いふ作を、
少くも竹素を
合ふに於て、
子望の

不為所動

予は十二は十三の会
次上

蘇州府志

トバズ参事員會第千六回公報

九月十四日午前九時開會

司會 極原勝 議長

一 欠席 河田(34)

二 文通并送

1. ミネソタカセンター参事員會 藤井書記長綴次

2. ホフマン所長宛電文(ヨコハマ會議)オジダタイムの件

3. ワイルド代官人 試訴事件に關し

三 文通受領

1. ニーシー副所長より遺骨容器に關する件

四 旧事項

1. 他人或は公共物件 破損、破壊セル者對し處罰に關する新法令の通過

2. コムニティ基金

3. コムニティ基金募集開始に關し 詳細に就ては幹部會に於て尚ほ研究する事の勧告案を承認す

3. 落久保事件

参事員會は落久保事件の成行きに關し充分なる法的解釋を得し得る程の情報を持たず、依て公共關係委員會に託して本件は將來日米市民に如何なる影響を及ぼす性質のものなりやと就き尚更研究に努める事を承認す

4. 秋祭委員矢野式より九月三十日及び十月一日兩日に亘り挙行する秋祭に就き説明あり、議長は十月一日晚に行はれる祭式於て参事員會代表として挨拶を述べること、及び極原参事員は司會に當る事に依頼を承認する

5. 飼犬の件

路上に飼犬が自動車に圍圍を群り邪魔となり止むを得ざる場合の殺傷に對し自動車運転手は不可抗力とて其の責任を負ふ必要なしとの勧告案を承認す、同時に居住民、飼主に對し新例を通じて注意する事承認する

以上

(午後十二時五十分閉會)

録取 藤井高美(次)
(矢野代理)

九四四、十月二日午前九時開會日

司會員、 榎原 勝議長

一、欠席、 杉山(4) 神崎(28) 村松(41) 古賀(35) 島本(36)

二、文通發送

1. ドクター 杉山 — 看護婦助手卒業式員会者
2. 看護婦助手卒業式員会者
3. トハタズタイムス — 新法令公告
4. リック大佐 — 徴兵延期の件

三、文通受領

1. ノーザル進子勢委員長 — 高校進学生出版物の件
2. 市民協会ブルテン
3. ヒフセンター — 試訴に関する件
4. アマケエセンター — 試訴に関する件
5. 沼尻参事員 — 辞任届提出

四、旧事項

1. コミュニティー基金、 試訴

本件は目下前記ニ転住所より回答に接したるのみ、他より何等の消息なきを以て前田会合の決議に基き先づ當市に於て具體的運動に着手し其の概を示す事に決定、其の第一歩として公共關係委員を通じ所内各方面に交渉を開始する様榎原参事員長に一任と決定

2. 病院問題

議長は所長よりの情報なりとて今因ドクター カリヤーが二週間の休暇を取事ドクターズリースが其の期間後任として來所、ドクター プレスマンは今因華府中興医科主任代理として就任すると報告する。

ドクター カリヤー、其の他病院に関する事件はブロック マネジャー、市参事會、共同参事員會に依託して着々止りを進める事を承認す。

3. オウヴタイムに関する件

順和田労働委員長よりデンヴァー會議の様子に就きハマン所長の談として報告をなす、即ち之れに依ればヒラセンターには七千弗、グラナダには四千五百弗のオウヴタイムあり、他のセンターに於てのオウヴタイムは其のセンターに於て決解し得るものと見らる。尚ほハマン所長はトハタズオウヴタイム解決策に就き良案あるを横江ワシントンに提出すれば案審議の結果考慮する、可能性ありと云ふ之れに就き三、四人の代表者と會談し度き意思ありと報告する。参事會日本事件解決の責任は管理向にありとの警告安否を承認す。

五、参事員報告

1. トハタズ秋祭り

矢野参事員より秋祭は成功裏に終結を遂げた旨報告する。

尚ほ榎原議長は参事會を代表して挨拶を述べ又榎原参事員は當プログラム(日曜日夜)司會の任に當面うると報告する。

2. 情報部

河本参事員長より來る十月六日六名の壮丁が入管する旨報告あり

3. 厚生部

沼尻参事員長よりタンゾーランで死去されたる後藤夫人の損害賠償に關しては第一世は米國政府に對し訴訟を提起する權利ありや否やに就き調査の必要ありと報告する。

(次頁へ續く)

六 新事項

1. 入歯に関する件

高濱参事員より入歯調達に關し調査を提出

病院より入歯調達に際し種々不便を感ずる点あり、其の事實及び理由に就き充分なる調査した後、討議する性質のものなりとし、保健委員は右調査に當る事を依託する。

2. 時間変更

来る十月五日より参事會開會時間を午前九時より午後一時半に變更する事を可決

3. 幹部會

議長より幹部會を十月三日午前九時より開催する事を告げらる

4. 参事會専用自動車

ギヤリヤーサーヴィスが中止されたりで参事會専用自動車提供方を管理局に要求する事を承認

5. ホフマン夫人接待會

藤田夫人より各婦人團體を代表し書記長及び議長を通じて来る十月七日開催のホフマン夫人の接待會に各参事員の夫人出席招待と述べて傳へらる

尚ほ右に必要なる百人分のケーキ許可に關し討議する處あり
右承認を得て食料委員會に依託する

(以上)

午後五時五分開會

梅原三代次代理記録

トーパズ参事員会才五回公報
一九四四年九月二十五日午前九時開会
司会者 榎原勝議長

一、秋席あり、

二、参観者、 林(プロクマネジャー) 表(34)

三、文通事項

1. 他各セラー宛試訴に同する手紙の返事要求

四、文通事項

- 1. 才十四日より新参事員紹介
- 2. 學生奨励学金協会より会計報告書同封さる
- 3. 野口俊次氏より軍人の父母の願送付さる
- 4. フォブより参事員就任式写真進呈さる

五行事、

- 1. 新法規の原文各参事員に配布しあり、充分なる研究を希望するに日議長より説明あり
- 2. 病院の問題に關し、自最後の要求が成るまで延期さる
- 3. コミテー基金調達の方法として、フォブの拂主不明のリバート貰受可能に就いて、参事員を通じて山手氏に手紙をかく、向ひ合はせ、幹部会付基金の目標を決定する事に就き研究をする、

六、委員報告、

- 1. 衛生委員より、齒科係員全部がオークシティービクニックに行く筈であるが、明白午前八時半より九時半までエミジシ一件のみを取扱ふと発表さる
- 2. 労働委員長順和田氏より、元西三四三オウタイム、對現金支拂は出来ないとワシントンより回答ありたる旨報告さる
- 3. デンバーに南僱中の所長会議出席中のマイヤー氏に請願の電報を榮する事を労働会議に於て決定せざるを承認した、

七、新行事、

- 1. 参事員会は九月二十七日(水曜日)オークシティーにてビクニックを行ふ案を通過す、四人の参事員を挙げて總ての世話を頼む、(委員ハ半由順和田、都築、矢野、以上四人)

乙、藤井書記長他のセンター訪問、

今面藤井書記長他のセンター訪問せらるに、就きオウタイム、試訴由題其他事情視察を依頼する件承認
尚ほ日頃の労に報ゆるため煙草錢十吊、進呈の件可決す

3、病院附近の水池

病院附近に水池が出来て困難を感ずるから順和田委員長に依頼して良方法を構する事承認さる
以上、

午後十二時十分閉会
翻譯 藤井萬里子次
(矢野、代理)

一九四四年七月三十一日午前九時
小倉大参事員会 橋本勝義長

一 缺席：岸本(12)半田(27)川口(34)張(11)(12)

二 前参事員会記録：白、行を通りて、可い。

三文通事手帳(出)

1. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

2. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

四文通事手帳(入)

1. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

2. 医部感謝金と他の價値ある方面に使用される様提議書

3. 厚生部長アノト氏より参事員会奉仕委員と道会を催し度う意見を表す。

五 参事員報告

1. 高橋参事員より、芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

2. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

3. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

4. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

5. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

6. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

7. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

8. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

9. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

10. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

11. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

12. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

13. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

14. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

15. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

16. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

17. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

18. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

19. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

20. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

21. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

22. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

23. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

24. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

25. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

26. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

27. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

28. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

29. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

30. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

31. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

32. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

33. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

34. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

35. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

36. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

37. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

38. 芥子選考委員宛入来参事員辞任状提出報告書

一 缺席：都築氏(13) 溝手(19) 半田(21) 神崎(28)
二 出席者：参事会記録は行の通り承認さる。
三 文通事項(出)

1. 過去一年間山学抓多長として生徒の指導に教授に従事したラト嬢宛感謝状送る。
2. オフミ所長宛宛入止函及眼鏡に關する件。
3. 情量組合理事長山手氏宛茶田副議長に送別会を聯合で催さるの提案に對する感謝状。

四 文通事項(入)

1. 矢田部氏の会費を自二十日は値するとの宴會及舞踏會に對する招待状。
2. プラウ方四面参事員渡辺氏も解任提出さる。
3. ベル所長代理も医師が必要と認める病院車使用の假プログラムをカリヤ病院長からの提出表を同封さる。

4. ベル所長代理もCASの二年多の算に關する報告書。

5. ベル所長代理も吾々から一九四四三年の定對外労働時間に對する現金払に關し数日内にワシントンにその要求を傳達する件。

6. ベル所長代理も吾々も提出した賠償時間に關する質問に對する返答。

7. ロウ中民の三名委員も同作移植に關する書。

8. 参事会も感謝状に對しラト嬢も感謝状。

五 委員報告

1. プラウマネヤヤ会に於てセンターに送られる全部の氷が全食堂迄運搬されておらず、不平の言があるを報告さる。モリハルソレレン氏が病院車運轉手募集の件に於てプラウマネヤヤの援助を懇願さる。当局は三名の運轉手を教員に免職されてゐるを現在ある募集を援助する事はプラウマネヤヤとして困難であると説明さる。
2. 労働者代表者は一九四四三年の定對外労働時間現金支払に關するワシントンに返るに對しては過度の対日を懸へる事に決定されたと報告さる。又一部の労働者の明解を当局も得る事に決定さる。

六 行司

1. CASの二年の予算は一十八万五千円で、吾々の給料は之に合はれておらずと表表さる。吾々はこのCAS組織改革の件を研究するに則しCASの主任達に参事会出席して詳しくCASが如何にして経営されてゐるかを説明せしめらる事に決定さる。

2. プラウマネヤヤ会も未だ早く食餌食堂を開ける為には非常な協力が必要と報告さる。プラウマネヤヤは一方に二十五名の普通労働者も募集し、先分でおければ次の水曜日にこの計畫を始める為に一時的にでも食餌食堂者中より働いて貰ふ様に訴へるつもりである。参事会もこの計畫は市場一般に成し得るに於てプラウマネヤヤと一致協力する事に決定さる。

3. 病院状態改善に關し、当局は吾々の報告を提出したにも係らず今尚苦情があるを報告さる。吾々も苦情がある折に助手看護婦も募集する事は困難である。所長は当局の方でも之等の缺點がある事を認めその缺點を直す事は約束さる。病院行政官は住民に協力と呉れおけねばならぬ。吾々も此の病院の現状をみればこれは吾々は大損である故に参事会は市場一般にその行政官を解任せしめ、吾々も当局に要求する事に決定さる。

4. 参事会参事人も津川参事員も解任は氏の言う通りに於て承認されたと報告さる。氏の解任は又参事会も於て承認さる。

5. 車輛取締規則中に取集台用の自動車が入らずサインで止まらなくてはならぬ。此の取締規則が故に車輛取締規則を修正する様に報告さる。

議長は公共安全及法律面委員がこの件を研究する事に依頼する。

午後十二時開會

柳原勝藏氏

参事会書記

以上

一 缺席：原春（以）神崎（以）打松（以）

二 前参事員会記録は朗読通り承認

三 文通（以）

1. 日本赤十字会協会の長木三郎氏宛比加賀二等兵日トバズに招待した通知

2. ホラン所長及サワード副所長宛お手看後婦に關する書

四 文通（以）

1. 丹波区選挙委員より入來参事員の辭任に關するアラタの意見を通知

2. 公共管理局长プロビンス氏より立派郵便局作成に關する件

3. ホラン所長より病院職員削減に關する返書

4. 公共作業部より消防栓状態の説明圖同封

五 委員報告

1. 河本参事員より「マヤヤ」合に於て「オニ」の河原氏鬼子七月六日戦死未
た報告未だ「マヤヤ」合四回の悲劇であるを、この件に對する「マヤヤ」方針を固く
定むる様を催促

2. 高浜教育委員長より校長と詳し提案に關する研究を報告
生徒が政府の所有物を破損した場合最初親に通知する事は林員同「マヤヤ」
生徒の成績品行を賞讃の式を催する事も同意

3. 看護婦会科委員長より令嬢係が令嬢顧問会に於て彼女計畫を説
明「マヤヤ」二十五名の労働者募集に援助を貴方より懇願する。廚司部は
労働委員に「マヤヤ」援助を裁く事も希望

4. 中田保健委員長より「R.A.」方で出科用道具を幾分か購入「マヤヤ」も充分
である。住民に充分の奉仕をするため出科用道具は今尚個人所有の道具を使
用である報告。又眼科の方でも二分の損料を払ふ契約停止である

高橋医師より道具を指帰「マヤヤ」道具が非常に古物である
宗教聯盟労働保健委員から政に助手看護婦かはるを止めるかその理由を
調査するも條項を提出

5. 須和田労働委員長より「マヤヤ」合今尚設立中と報告。労働委員及
農事部代表がある火曜夜集合（加来氏とM.P.より）件に「マヤヤ」討議
又定時外は「マヤヤ」同様に研究「マヤヤ」四三年度定時外は「マヤヤ」同様に直ちに
現金を払ふ事を要求する代表者会を召集するを勧告

6. 田原外交委員長より「S.O.」希望主は三階一室兵を募集日市を「マヤヤ」する事も希望
「マヤヤ」又宗教聯盟「マヤヤ」合の方には「マヤヤ」を勧告

7. 須和田参事員より病院社会奉仕係員より学生及出所者は定期的健康診
断を奨励する報告

8. 河本徴兵委員長より徴兵作格検査に出張する三回同式は「マヤヤ」から免除する
と報告

六 行司

1. 聯合集會に於て「マヤヤ」の宗教聯盟参事員会も成立する準備委員
設置を提案。戦死者に對する尊厳は私葬に「マヤヤ」労働者も「マヤヤ」決する

2. 参事員会「マヤヤ」より議長は片山氏を假委員長に吉田探吉田利雄塚本
牧野等が労働教師、田部部夫人、河原八三嬢を夫々「マヤヤ」委員に任命

3. C.A. 会長「マヤヤ」嬢より提案された如くC.A.S.組織改革の件を研究する為には
議長は外交及奉仕委員もその任に任命

4. 議長より「マヤヤ」所長宛送る憲兵の義務及労働者の要求を合め左報告書日
七朗讀

5. 参事員会就任宴會に於て「マヤヤ」全議長及参事員会に對し感謝状を送る
「マヤヤ」致す

午二時三十分閉會

（以）

一 缺席：講手(原)神崎(28)川口(34)戸田(37)村松(41)

二 前参事員会記録は朗讀通り承認さる。

三 文通事項(出)

1. 少年理事員任命の件

2. ホフマン所長宛花園科送一名免職の件(再考を促す件)

四 文通事項(入)

1. 山手造人氏より幾多の委員全募集集假プログラム同封さる。

2. 津川久市方十五参事員辞任狀提出さる。

3. 藤田清之助方十三参事員辞任狀提出さる。

4. 三隅家族より感謝の意を表さる。

5. ハートマン参事員より参事員会記録同封さる。

五 行方

1. 司会委員より補缺として推選された松山一夫、朝枝敏雄、大辻源太郎、力丸敏郎、諸氏を議長より司会委員と任命さる。

2. 議長より昨日CAS長及サード副所長會見したCAS便覧を説明された報告さる。公衆信託及公衆行の部顧問會設立が特便覧に示してある。

この件は参事員會役員會に於て詳細に研究さる。

3. カナニニ已参事員に關する特別委員よりブラウ選考委員が特別委員にブラウ集會に出席し参事員會の意見と説明を與へる事を希望されたけれども既に詳しくブラウ選考委員に説明を與へる必要はないと傳へたと報告さる。ブラウ選考委員よりブラウ集會に於て辭任したと報告さる。

又特別委員は委員の任務をより遂行した事を指摘さる。この件は總選考委員にその解決を依頼する事に決定さる。

4. 福岡千恵子嬢は参事員會出席を東京臨岸に於ける経験が乏しく、エニークにはキリスト教會及仏教會がある故、圓宗の礼拝に出席すれば一世でも氣になつてゐる。彼れが自分は日系市民であるといふのも一度も悪感を受けた事がある。一度日本人が五つも日本人であるといふ事を知れば、彼等は非常に苦痛に對し親しみを感じ、一度エニークタイムス紙上でイタリに活動してゐる日系兵士及負傷者に關して一面記として出された事があった。このエニースが本人胸を打つ様は思ふに日本人が出所した折は日本人を代表するべきヤング生協中に親が子供に行儀及態度等をよく教育すべきである事を強く説明された。

5. 吉岡利雄氏が少年部仙青を代表して唱歌隊着を依るのに少額の出資金を集める為には金魚の折入トトラ及カキ氷を賣る許可を請願する。この件を承認するが新議長美場一致の決さる。

六 委員報告

1. 渡辺スペイン領事委員よりマレーンスペイン副領事から来る火曜日の午頃に来所された折衝委員が予定一日半の會見したと報告さる。委員より質問及報告を副領事に提出し副領事より書を入るべき質問書を委員に渡さる。この質問及返答は聯合委員により発表される。予定翌日より五時半の間に教員と個人相談をしない同夜発表された。

2. 教育委員は教師と先生不足の件につき研究したと報告さる。キヤン職責紹介係はミナ州で不遇先生を探するが出来なかつたと報告さる。先生一月給を昇け

又彼等に好待遇を與へる様に強く説明さる。午前十の十分開会 以上

一九四四年七月二十日午正時四十分

司会者 楠原勝蔵 長

缺席：松山(4) 藤井(12) 渡辺(14) 島本(36) 戸田(37) 村松(41)

三日前参事員会記録は朗読通り承認さる。

三文通事項(出)

1. 消費組合の手理手長宛毎日送る水運搬に対する感謝状。

2. 缺席参事員に正式傍聴者を選定する通知状。

3. ハートマン参事員会中島議長宛参事員会記録及徴兵再設定の方針

一覽見を同封す。

四文通事項(入)

1. ホフマン所長より同僚委員宛召換状を発行する場合犯罪回数を表示す件。

2. 平野生一氏よりスベイン領事折衝委員に対する任命辞任状。

3. バートン弁護士より矢野恒律委員宛活動入場料に関する件。

4. ベン博士より職業訓練委員月例会は延期の通知。

5. 分四十三長田参事員より辞任状提出。

6. 齒科医及音楽局員は従前通り住民に奉仕する為此処に留る意表現。

7. ホフマン所長よりトバズの人力理手会集合同时通知さる。

8. ベル副所長よりジョーランドC.A. 長宛活動字と関する注意。

五委員報告

1. 入来教育假委員長より教育職員より提出されてゐる報告箇條を各参事員より研究し種々の増加取消等も提す。務に提案さる。

参事員は同伴を研究する間、教員委員はPTAの方々と提案を研究する。務に依頼さる。

2. 病氣又はカクタイムの関係で働いてゐる者迄含めて各食堂労働者は最

低二十人程である報告さる。この件に關する覚書を人々部長よりブリー氏

より得て食堂係及職業紹介所の方へ送る。また労働委員に依頼さる。

所長がワレントンに出張がある一九四四年のカー・タイムの件につき討議してある

け水とも今尚不明に對し返す。か。

3. ホフマン所長より人力理手会であるもの、必要を力説さる。今回の理手会名

朝鮮催進米以後毎週集合する予定である。

4. 議長より委員が所長を通しワレントンに送るべき病院職員に關する手

紙に注意されてある報告さる。總入函及眼鏡は厚生新を通して

無料で作製出来ると発表さる。

5. 加州再轉任の件は厚生部で取扱てゐるものと発表さる。この件をプロト

コ生部議長より参事員会に説明して貰ふ。これは決定さる。

矢野参事員より敵国外へ旅行の短冊子を説明さる。

六行

1. 議長より参事員会役員会より参事員会集会を午前九時に変更する

を提案されてゐると発表さる。午前八時半の件も提案されてゐる。過半

数の賛成を得て午前九時に始めらる。これは決定さる。

2. カネミエ氏宛参事員会よりブリー氏の提案を再び説明さる。

特別委員会の件を研究し次会迄報告する。提案案さる。然しその必

要がある。最初には確める。と決定さる。今回の参事員は生れた文で未だ

に活動してゐる。この参事員会に比較しての善悪を批評する。これは困難で

あると説明さる。参事員会が確立されて、各新佐常備委員が活動する。この

件は上程する。活動案は過半数の賛成を得てこの件は一時保留さる。

午後四時三十分閉会

一 缺席：入来(7)藤下(12)五十凡(北)川口(34)長田(40)

二 前参事会記録は朗読通り承認さる。

三 文通事項(出)

1. ミネドカ郵便のカーフリー煙草トバズ滞在中看護婦長としての奉仕に對する感謝狀。
2. クララ出版新入りのイタ氏宛同氏経営の雑誌紙上の広告提案は受け入れられた。
通知狀。

3. ハートマン参事会議長中島氏より参事会記録交換に關する件。

4. スペイン領事聯合委員任命狀。

四 文通事項(入)

1. ベン假所長より車輛取締規則を当局職員に依つても遵守さるべき件。

2. ベン假所長より乗合自動車の高分品を電気聯絡の公費がある修繕を要する。
を暫く遅れる通知。

3. 比加員ニミ兵よりカレゴン州のキヤラに到着した通知狀。

4. ホフマン所長より大シヤベンに對する返事。

五 委員報告

1. 梅原参事員よりブラクニメゲヤ合資社よりラフブリッラ氏が新労働者割当は二千七百
名であるを發表したと報告さる。ノープン教育監督よりソートレーキ市に於て開催
された教育大会より供う教育が主である議題として討議されたと報告さる。

2. 高談教育委員よりノープン教育監督自カトバズの教育程度を高めるに
に勤めると。職員は生徒の性質改良の方法を研究せよと報告さる。

3. 充分なる先生があるに間違ひなく次期は九月四日より開校されると發表さる。

4. 都築食料假委員長より他の新食料理事長を引き取り事務は注意さる。
ワレントより新住及外理理由により食堂労働者数に限る事を提案されて
あるを發表さる。

5. 須和田軒住委員より今晚公会堂に於てカペラー博士の講演があるを發表表
さる。今晚の主催者は宗教聯盟である。

六 行方

1. 議長よりホフマン所長の後日当局より新税関にせしめ内では聯邦税は免除
して貿易交渉をたやすかあるを。現在この免除は不可能であると思はれると報告さる。
榎原参事員金委員長山手氏は今永に對する税関から返るを待つておられる

を、山手氏か返るを得るまでこの件は待つておられるに決定さる。

2. 咽京外交委員長よりC.A.S.に於ては毎月参事会に會計報告を提出せねばならぬ
る解にあると報告さる。C.A.S.職員は参事会月報より算出する七百五十拜は如何
にして使用されておるか知らぬ。如何なる団体でも職員金募集運動をやら

場合口先方一に参事会への許可を得るに同時に會計報告を發表する事を
を力説さる。近年数参事員は常設議長が定まる迄この件は上程す

る事に社員成立しその間外交委員長は各団体如何にその団体を支持して
おられるを調査するを依頼さる。

3. 議長より現在の齒科及薬剤師削減はワレントからの命令で強制的であ
る。五五五は現在の七名の齒科医より普通は治療をせざるが約一ヶ月行
たわはちうぬ。その故に今度の削減は非常に無理であると説明したと報告さる。

4. 議長より現在の職員を保留する交渉中現狀維持を懇願するを
議長一致で社員成立さる。

5. 議長より参事員が集会に出席出来ず場合代表傍聴者を出す事を
提案され。所長を通し之を傍聴者は正式に彼等仕るから免除される
事を願ふを依頼さる。

午後四時四十五分閉会

辭訳

榎原美喜氏

以上

トバズ参事員会八回公報

一九四四年七月二十七日午後九時

司会者 楠原勝藏 長

一 缺席：席中(12)半田(21)川口(34)村松(41)

二 出席：参事員会記録は朗讀通り承認さる。

三 文通事項(出)

1. 所長ホツシ氏より病院職員清誠に因する件。

四 文通事項(入)

1. ベーシ中學校長よりサニオト副所長及参事員会宛公会堂に於ける活動字に因する件。

2. 修田茂三郎氏よりスベイ領事聯合委員会に対する辭任狀。

3. サニオト副所長より病院に於ける助手看護婦の募集に因する集會の同通知。

4. カアチ看護婦長より助手看護婦及附添人不呈通知。

5. カアチ看護婦長よりカアチ看護婦長より助手看護婦及附添人に因する手紙に因する件。

五 参事員報告

1. 橋口参事員よりブラウニングヤ合に於てWRA予算計額三十九萬五千円承認された報告さる。

デルタ買入旅行の折入ブラウニングヤが案内役にあるを發表さる。

2. 教育委員より各参事員がブラウニングヤ合に父兄会員と曰ふ而しての提案を研究する様に依頼さる。

3. 五十井余科平氏より厨司及び事務に關する報告さる。現在野菜かわいと報告さる。氷の供給も近々増加するを發表さる。

4. 須田田信健氏より委員よりカアチ看護婦長と助手看護婦不足の件に因して自費を要するに因する報告さる。

各参事員は助手看護婦の募集に關する増加に勤める様依頼さる。

六 行方

1. サニオト副所長よりカアチ看護婦長を紹介され、看護婦長より食餌係長ミケル夫人を紹介され、看護婦長より充分な看護を受けるには

六十名の助手が必要である。現在三十九名働いてゐるが、始りより二十名復校するに及ぶ故、参事員が助手看護婦の増加にミケル夫人

が食餌計畫を進めて行ける様にその方面の労働者を募集して下さる様に強く懇願さる。

2. ブラウニング中學校長が参事員会に要求する総入道眼鏡の件を説明する為に参加し、参事員会出席者、總入道及眼鏡に對する手紙は個人問題であると

説明さる。若し中學校長がその方が自費で払へると見合場合その手紙が承認されると許し説明さる。之等は此處で製造する道具があるで無料で支給されることを説明さる。

参事員会より特別の手紙はソートレーキ市でWRAの費用で行はれてゐる故總入道及眼鏡も同様に取扱はるべきである。強く説明さる。佐良の友の参事員会参事員は吾々の要求もWRAに提出すると同時にブラウニング氏のこの件につき更に研究する様依頼さる。

次へ

一 缺席：藤本(12)半田(21)川口(34)島本(36)
二 前参事員会記録朗読通り承認する。

三 文通事項(五)

- 1. 司会委員補選欠席の任命状
- 2. ホフマン所長宛のASに対する年々及年四回の予算金額の詳細を要求す。
- 3. ホフマン所長宛一九四三年度定期外仕付時間を現金で支払ふ事を再考を促し同時にその返るを要求す。

四 文通事項(八)

- 1. ホフマン所長より公共安全に関する説明及びリレーの自動車事故の記を同封す。
- 2. 矢野部長より手理手理員に対する辞任状。
- 3. プラウグ所長より新選参事員を通知す。
- 4. ホフマン所長より短期出所帰還者もセラー運行の責任を負ふ世貫ふ件。
- 5. ホフマン所長より名寄齒科医免職に關して文通に對する返る。

五 旧行より

- 1. 参事員会役員会宛てCAS予算に關する事も詳しく情報を得る様に決定す。
- 2. 参事員会にこの詳細ある情報入手の上更に研究する。
- 3. 食餌会食室開始に關してミケル食餌係長が食餌係中何人が仕るか来るかを調査するにあつて食餌会食室の開始の遅延の理由は労働者不足である。保健食料両委員は此件を詳細に研究する様に依頼す。
- 4. 矢野部長雄昭局長十郎、秀島七三郎、須和田倉中、諸参事員副議長より夫々推選され副議長として矢野部長を参事員選挙す。

六 委員報告

- 1. 教育委員はサンフォード副議長、ノール教育監督と先生の給料増加の件につき研究した。又委員は此件につき覚書もノール氏宛差出す予定である。報告す。
- 2. ライトソン小学校校長は近き東部沿岸に転任する。教育委員は議長から彼女に感謝状を送る事も提案する。
- 3. 須和田労働委員長より去る土曜値きまつた労働集會につき報告す。
- 4. 参事員会一九四三年度定外仕付時間を現金で支払つて貰ふ事に同意する書面を所長宛て報告す。
- 5. 河津徴兵委員長より河津五五の河津一兵が戦死したと報告した報告を打込む。

七 新行より

- 1. ライトソン校長に感謝状を送る事に決定し、議長と教育委員が感謝状を起草する。
- 2. 都築食料委員長より前のUSO食料要求許可の手續が間違つてゐるのでその修正を取消するを提出する。此件は多場一致で承認する。
- 3. 短期出所者が一時的に付向又は休暇で帰還して同キヤンフ運行に援助して貰ふ件は労働委員に研究して貰ふ事に決定す。
- 4. 次週末に中央局のタイン医師がトピーに来る予定である。此を歯科一医、藥劑師消滅に關してその解決が得られらう。
- 5. 戦死者のあつたプラウグの参事員が葬式の折参事員会代表と弔辭を述べらうに決定す。それ故に今晚の故西一等兵の葬儀には梅原参事員が参事員会を代表する様に依頼する。この様も折に一定した弔辭を起草する。為に議長より河津、秀島、咽原、矢野、梅原各参事員を任命する。
- 6. 明夜消費組合が藤田氏に送別会を催される故参事員会も聯合する事に決定す。

午後十二時三十分閉会

以上

一九四四年八月十七日

ニコルソン牧師はニブジヤグヤ州出身であつて、セーブルの牧園に約三百五十名の
日や人労働者を採つてゐると述べる。当セラーで五十名の應募者があるは
佐復特別車が提進されると、又当地は健康によく日曜でも娯楽場が開
かれ、そので御金を使ふのが出来ぬと報告する。

若し深山、希世王者かあるは当地の潤米に誰か出張する事も勧告さ
る。参るゝ会はあつて方面より王やプレイ委員達を全力を尽して援助するに
決意す。

3. 予孫を参事員は出所され、氏の辭任は参事會で承認さる。

4. WRAの中央医師長タムソン氏が今週トバズを訪問された時に總入会及眼鏡は病院員と取扱はふべきである事を強く説明するを提案された

5. 事務支那人より渡辺参事より莫か言葉で辞任を提出する名を報告さる
 参事より会より辞任は書状で提出する事を要求する事は決定す

午前十一時五十分閉会

以上

鄰
訖

孫升 篆書

トバード参事員会第十四回公報

一九四四年八月十七日午前八時半開会
司会者 福原勝蔵 議長

一 缺席：渡辺(14) 満手(14) 半田(21) 神崎(28) 打松(41)

二 出席者：参事員会記録は訂正通り承認さる。

三文通事項(出)

1. 藤田前副議長宛氏から参事員会副議長としてトバード市の為供された指導
及協力に対する感謝状。

2. 芥田正三参事員高橋克三氏宛の祝状。

3. 他参事員参事員会議長宛徴兵再設定の発刊及参事員会記録同封す。

四 文通事項(入)

1. サラード副所長より、特任所の少年規則を同封さる。

2. サラード参事員会より、特任所提出さる。

3. サラード教育監より、サラード副所長宛送る小先生給料増給に
関する書面の寫しを同封さる。

4. ベル假所長より、平野ブランクマネヤ会々長宛送る小先生と水槽連絡を
通知さる。

五 旧行

1. 戦傷者に関し、参事員会より、内であるので当局を通じ、国際赤十字
社にトバード戦傷者の名前を本来得文早く発表して貰ふ事を懇願
する事を決定す。又戦死者に対し三月月に一度位金キヤパの追悼会を催す
事を承認す。外交委員は宗教聯盟とこの件につき相談しUSOブランク
マネヤ会より、参事員会に聯合委員の案を提出する事に依頼さる。

2. 追進以前、地方部内に日軍兵士の戦死を発表する為当局性、報告した
この件は依頼する事に決定す。

3. 相次ぎ参事員会假ブランクマネヤ会場一致承認さる。

六 参事員報告

1. ブランクマネヤ会より、参事員会に参事員会に砂粒野菜氷不足を研究する事に
依頼さる。この決まりにさかたりにする事を指示する手段を参事員
会で研究する事を提案さる。

2. 教育委員より、先生の給料を増加する件につき、サラード教育監に書面文
を送る事を報告さる。この提案時間短縮さる。それ以後、書面状で委員の
迄通知と貰ふ様力説した。

3. 保健委員は、助手看護婦募集の件につき、サラード副所長と人見した
と報告さる。又病院車運轉手の問題が起つておられるけれども、カリリア病院
長とパーセン氏からその解決に當りておる。

4. 食糧委員より、土曜日曜に働いておる一月以来、土曜外労働時間も貰
つておられるが、発見された。該件は当局と共に解決さる。

七 新行

1. サラード副所長より、アメリカ自由主義参事員代表ニコンン牧師を紹介さる。
之より参事員は日本人、日系人、人達から出来、又早く西部沿岸に帰る事が出来
る様に大いに奔走しておる事を説明さる。若し五日後に西部沿岸に白人友人達
は文通すれば、五日後に西部沿岸に帰る事を早めるだろうと更に説明
さる。

(前頁より續く)

尚ほホーシ級の人は特に充分なる事情に通じ置必要あり、會議に出席せしむるを勧告する事に決定

六、委員報告

1. 教育

秀島委員より、學校のジャター三千人が二十五人に減せられ、苦難なるも、ノール校長の意見に依れば之れは甘不可耐なり、次の會議に代表者を出席せしめ、事情を陳述する旨報告あり

2. 食料

五十荒委員は華府本局より司厨主任バデグ来所、委員會と會見せりと、高父金曜日午後三時兩會の報告、當センター司厨主任バリス、ランドン、ワッソン氏、會面加州行きのため辞任せりと報告せらる

3. 兵役情報部

ターナー兵役係官より、来る十月九日千人の入營者ありと自通告あり

4. スピーン領事折衝委員

戰時捕物宛贈物に關し、充分なる情報を得る報告を予定

5. 厚生部

厚生部係官プラット氏は、週向一回委員會と會合し度き意向ありと自報告せらる

七、新事項

小學教師に關する件

近日中に数名の小學教師が外部転任するに付き、後任者を員分集束のためブロックマネージャーを通じて依頼し、四直したるも、猶一處に住民の協力を希望するに日、高濱參事委員より提議あり、同一の賛意を得

午後五時三十分閉會

(以上)

梅原三代次代理書記

一、欠席、河本(川都築(回)半田(回)島本(36)岡本(42)

二、前回議事録承認

三、文通齊送

1. 宗教聯盟、基督教婦人會、佛教婦人會、キリスト教、ユダヤ、職業婦人會、成人教育、ブロッコマニヤ會、宛看護助手募集に關し
下相談、安否内状

2. ホフマン所長宛、今回通過の新法令承認方に関する件

四、文通受領

1. 學生奨學金委員会より會議公報

2. 學生奨學金委員会より税金免除に關し報告

3. 赤十字社より活動字真興行許可方申請の件

4. 米國市民協會よりコルマ基金地及び落久保事件に關し

五、事項

1. 病院問題

議長及副議長がハフマン所長と見して先日發表せる病院改善策に對して住民側にも努力をなす旨意向を傳へ、看護助手募集に關し金曜日セントラル諸團體に呼びかけ相談致し度き計画ある事を通知す、所長は早速カリヤー医師と木曜日の予備會議に出席し、梅原所長は報告、順和岡参事員は予備會議に於てカリヤー院長は病院問題のためには住民と協力致し度き意志あると述べ又住民の支持援助を感謝する云はれたりと報告す
中岡参事員はカリヤー院長は保健委員會と一週一面會合し、種々協議致し度き意向ありと述べ、連日小休しと報告す、

議長より金曜日に看護助手募集に關し諸團體代表者會議を開催する旨報告

2. デルタ運賃問題

議長より前回の答へと同じと報告する、本事件は慎重なる研究を要する問題なる事を認む、

3. コミテイ基金

現在の取意案起草特別委員會は仕事一段落と認め、之れより先づ打ち切り度き意向ある事を梅原参事員より述べらる、参事員は右委員諸氏が大作といふ金に對し感謝の意を表す、
されども来るべき代表者會合に對しよく備へ置くる必要ありと現在特別委員諸氏と幹部とが充分なる用意を整へて之に當る事を決定、尚参考として夜間の會合を提唱され考慮に入らる、

必、労働問題

当局によりて作製せる、就働員救済法案に對し充分なる理由により適用され得ざるものは考慮の餘地あるものとして各部内に於て之を研究し次の會合に持ち出す予苦となり居る旨報告あり

(前頁より續く)

学務委員(續き)

高濱参事員(9)は幸ひ適任者を得たにも猶ほ数名是非必要を有れば各自参事員の努力を要する

議長梅原氏も此の點に關しては教育は民族將來の副利に大に力あるものなる故一層の協力を強調する

4.食料委員

WRA. 華府本部より來訪のハデング氏の意見とミニドカセンターよりリッチモンド氏と今田ワッソン氏の後任として推薦する所あり

都合により本件は決定せざれども、如し。

5.圖書館

金子参事員提案による圖書館は従前通りに夜間開館を願ふとの希望を承認する

閉會午後五時四〇分

以上

梅原三代次代理書記

トイバ参事會第三十七回議會公報

九四四年十月六日午後一時半開會
司會 榎原 勝 議長

一、欠席 村山(1) 河本(1) 溝手(19) 半田(27) 神崎(28) 河口(34) 自島本(36)
村松(41) 岡本(42)

二、前回議事録承認さる

三、文通傳達

一、水庭道雄氏宛、赤十字社主催活動器具興行許可に関する件

四、文通受領

一、サンフォード氏より覚書、癘兵センター歸還許可に関する件、

五、四事項

一、病院に関する事項

看護婦助手募集案に關しセンター内諸團體代表とカリブー院長と會合し協議の結果文書を作製衣と印刷しハラン所長の賛意を得て一般的に配布する事に決定す。CD病室の午當には成るべくわが親族友人に依頼して之に當らしむる標取計ふ事、議長より病院當局に於てはアシタランスに關し取善有效と思はるる方法を構じて人員充實を計り度き希望する旨語られたる由報告さる。

二、新法令

學学校及圖書館に關する法令に就きWRAとして一定の規定がある、夫れに依つて實行に移ると云ふのが所長の意見であつたと發表さる。

三、公共見金及び試許費集分集に關する件

各ブロック代表者より合同集會を来る九日(木曜日)午後七時ブロック千六に於て開催と決定

六、各部系女員報告

一、ブロックマネージャー會議に出席せる橋口参事員の報告

の食堂就働定員として八百九十九人を要求して居る。(四)ボイラー、ジャニター、アイギーの各部人員割當に關してはWRA指定の人数早や實現する希望であるが明朝の各セクションホム代表者、出席参加を希望する報告。(三)加藤兵士佛國戰線に於て戦死の報告。(四)学校教師補充に關する件。(五)現在入院患者の数は二十五名なる由報告。(六)コルマ地關係者集分集の件。(七)センターに於て各人等しく一様に樂しみを配つて映画、芝居其他公共催物の際、不徳義憤に依り自由座席を独断しザグする行為に對し主催者に注意し防止の方法を構せられ度しとの声高しと報告さる。

二、労働系女員

須和田系女員長報告

去る十月五日午後七時代表者會は住民に關係するアロケーション問題であつたジャニター、ボイラー、病院ボイラーには現在の定員を絶対に必要としさもなくば不可能だと云ふ証言を集得するが今箇の目的であつた。又あるセクションに於ては未だ之に對する充分なる研究がなされて居らず人員の絶対必要を主張する理由とするべき証言を得るまでの結論は到達されず、ジャニターは單に現場維持、ボイラー組は四十五名を主張し居るものとの説明も附加さる。

三、學務系女員

本島島參事員はノール氏の報告に基き辭任されたる教師の補充方を懇望する。

(次頁へ續く)

七、ニージー州シールブルク農園代表者上河氏は議長に紹介せられて後、働人募集に關し説明をたす。

八、委員報告

1. ブロックマネジャー會議

梅原参事委員よりブロックマネジャー會議は於てはシールブルク農園代表者上河氏が人員募集に關する説明をたせりと報告さる。

2. 教育

秀島委員より次の報告あり

現在、ハイスクール生徒数八五人、自人教師五人、日本人教師四人、小學校兒童数六三四人、自人教師十人、日本人教師十人、尚ほ高校生徒は二千五百名以内の費用を以てイヤーブック出版の計画中なりと。

3. 食料

平嵐委員より農園の夜間キッチン閉鎖する筈であるは、コックはダイエトキッチンに働く可能性ありと報告さる。

4. 法律

法律委員より遺言狀は誰でも本人が自分で書いたものと法律的に認め、又病院入院中の患者の如く自分で書けぬものは他人に依頼して書いて貰ふ事が出来る、此の場合には二人の證人が必要であると報告さる。

5. 轉住

委員より轉住者荷物は從來其の土地のステーション迄なりしを今委員會を通じ、家まで運び着ける、移取扱方に就き交渉せりと報告さる。

以上

午後四時四十五分閉會

藤井一萬壽次翻譯

トバズ参事會第三十三回議會公報

一九四四、十月二十三日午後一時半開會

司會 榎原勝議長

一、欠席者、村上(1)杉山(4)河本(1)清平(19)半田(27)島本(36)須和田(37)
二、議長よりシゲル・農園代表者上河氏が三時頃來會し、働人員募集に關し
説明ある旨報告さる。

三、前面の議事録承認さる。

四、文通発送

一、ブロック二十三に對し撰奪委員を撰奪されし様勸告書白

五、文通受領

一、プロジェクト情報局より新地戦争地圖

二、所長ホフマン氏よりボイラーマンの仕事時間割に關する件

三、林田ミキ子嬢よりノースエイド寄附に對する感謝狀

四、所長ハフマン氏より参事會議事録に關する件

五、オウガタイムに關する件

六、協議事項

一、病院問題

本問題に關しブロックミーティングの結果を各参事員より報告あり

前面に於て承認されたる参事會のレコメンデーションに對し各ブロックに於て
賛意を表すとの報告あり。

ノースエイドの給料は、バグライシと同様十九弗支給すべき性質のものなる故
労働委員會より給料値上げ方に就き其の可能性を研究する事を依託
杉山医師は三週間の旅行に出でられたる旨議長より報告あり

二、コミュニティ基金

コミュニティ基金募集に關し各ブロックより入寄二人の募集委員を提出して
参事員と協力せしめを頼むとのレコメンデーションを示承認さる。参事會基金
募集委員は明朝十時ブロックマネージャーと會合の予定を作る。

三、ボイラーマン

ボイラーマン仕事の時割に關し所長よりの通謀を讀み上げて説明となし
労働委員會に依託せり

四、オウガタイム

オウガタイムに關し所長よりの覚書を讀み説明をなす

事件は労働委員會を通じ労働代表者會に依託を承認す
エマーセン・ケースに就ては尚ほ研究の必要ありとし調査繼續を承認す

五、新法安示の提出

シグナル・コミッションより新法安示を提出さる

コピーを製作し次回に於て各参事員に手交し研究する事に決定

ト。バ。参事員會第三十四會議會公報

一九四四年十月二十六日午後一時四十分開會

司會

梅原勝議長

一欠席

橋口(8) 河本(11) 半田(27) 神崎(28) 島本(36) 鈴木(37) 村松(41)

二文通發送

一、アマチエ及ハート山センター宛、藤井書記長紹介状

二、サンフォード氏宛、狂犬病注射薬品の注文

三文通受領

一、學生奨學金委員會より計算報告書

四、討議事項

一、フコニテール基金及び試許費募集に関する件

梅原特別委員長は本件に關し参事員會に於て承認せし趣意書をブロッグ・マネジヤーの會議に提出して説明及び質問に應答の後、激場致を以て賛意を表せりと報告する

右特別委員長と接衝の結果、各ブロッグより二名の代表者を提出して其の氏名を十月一日までに通知する事に決定せりと報告する

参事員會に於て右の案を承認し各ブロッグより二名の代表者撰定の方法は各ブロッグの都合に委せ其の氏名通知は十月二日(木曜日)とレ、又

前記の趣意書は印刷して配布に便ならしむる事を承認す

二、病院問題

スミス医師より提出せる五ヶ條の改革案はト。バ。新聞に発表されたる通りにて之はカリアー院長も全部を承認せし旨議長より報告あり

グイエットケツケン働人は目下十二、三人あり早速十月一日頃より開始の予定あり、尚ほ充分なる運転を期する為めには六七名の就働人を必要とする旨報告あり

三、デルタ・當センター向荷物運搬に関する件

前回の決議に基き當局と折衝せし本件は ODT (國防運輸局) に於て取り極められたるものにて WRA 當局とは如何ともなレ難き所ありと云ひ回答ありたりと議長より報告あり

参事員會は居住民の副利を擁護すべき位置に立脚し、斯くの如き不合理なる規則を是認すべきにあらず、運搬料金は宜しく WRA にて支拂ひ従前通り住民に無料にて運搬の便を計るべき意向を述べ更に又交渉をなす事、即ち、

目下施行中の荷物運搬追加運賃の如きは一般住民の収入額に鑑み不當、不合理の甚だしきものなるを以て反對の意を表すとの議案を可決し早速當局宛通謀する事とす

(次頁へ續く)

(前頁より續く)

五、委員報告

1. 議長より参事會用とて自動車一輛貸へられたるを以て一定の場所
に於て参事員をピックアップすると報告する。

2. 徴兵情報委員

ターナー徴兵係員より来る十月八日二十名の青年が入営のため
當地を出発の予定なりと発表する。同時に二十名の姓名も発表
表ありたり。

3. 新法案中の學校に關する法律及び公法法規に對して市参事員
で研究する必要ありや否や考へて欲しいと議長より注意。

4. 法律委員

新法案中に就てはジュヂシャルコミッションより池田が出張して説明
をして呉れる様依頼する筈なりと報告する。

5. パブリックリレーション(議長報告)

本日岡山南教師藤井牧師が私見として述べるにはWRAの将来
計画委員會は多分に政治的氣分を加味され居る故、宗教團體
として参加するを欲せず、されど住民福利のためとあれば参事會に協
力するの事なりしと報告する。

六、日本軍人捕虜に送る慰問品に關する件

咽原委員より提出の本件は討議の結果スペイン領事接衝委員會に託
して當市赤十字委員とも合談し適當と認めらるゝ方法により事を運
ぶ様取り計し事と決定

七、時間変更に關する件

就働及び食事時間の變更に關し再々開に於て討議する事と決定。

午後四時四十五分閉會

以上

梅原三代次代理書記

司会者 藤井 天喜 次郎 藤井 天喜 次郎
楠原 勝正 議長

一 缺席 入来(下原)川口(田)川口(田)長田(田)

二 楠原 勝正 議長は到場一致で正議長と選挙する。

三 副議長として藤田 正助 芳島 七三郎 参る員推選する藤田 参る員推選する。

四 文通する項(出)

一 司会者委員に対する任命状。

五 文通する項(入)

一 スベシ領事折衝委員及司法委員に任命する議案七五助氏も解任提出する。

二 藤原久保 敬造 河田 三司 長委員に任命する解任状。

三 タラシ上院議員より八月四日就任日を承認する。

四 ハトワシ上院議員より八月四日就任日を承認する。

五 日本市民協会発行の海外出征兵士の手紙及大統領に依り四者君を小し修正案による市民権喪失に関する件。

六 参事報告

一 矢野 重役会議本席假参事員長より各集會に於ける各部局長より夫々

仕方の報告がある報告する。

車輛取締規則が厳重に取締る事を発表する。

カリアー病院院長より病院の職員が削減される事を発表する。

二 依々木スベシ領事假参事員長より八月七日にスベシ領事代表がトハズを訪問する予定であるを発表する。

七 行方

一 事務支配人より前期参事會に於ける調停委員会の必要を認めあかりた故、該委員会は確立される事か。

調停委員会は必要に応じて任命する事勧議する。美場一致で可決する。

二 少年参事員会美場一致で任命する事に決定し、各参事員は次の集會に於ける担任者を推選する事に依頼する。

三 参事會より任命に對し解任される方には直接會見し解任再考して貰ふ様に美場、徳和、田嶋、原、各参事員を議長より任命する。

四 芥子ニシスより参事員八名を減じ、同外は参事員八名の任するとして五日通の手當も貰ふ事を提出する。参事員八名の任する事を小ば公衆の爲にもつと

無きと説明する。

この問題は非常に重大である故、次集會に於ても詳しく研究する為上程する。

五 議長よりワシントン方面は病院職員削減は確定的であると報告する。所長を通じてワシントンに五名の住民を提出する事を懇願する。橋

決定する保健委員は議長、副議長と共に吾々の希望を完成する

に必要の手段を採る事に依頼する。

以上

午前五時八分開會

記録

藤井 天喜 次郎

御通知

紐育市市民委員會副議長カペンター博士は本月十三日及び十四日、トールバ訪問の豫定であります。カペンター博士は廣く東洋を旅行され、一九三六年及び一九四一年には賀川豊彦氏等と共に米國及び歐洲を旅行された事があります。同博士はボストン大學卒業生にて紐育大學より教育學博士の學位を授けられて居る人です。今因太平洋岸及びカナダの講演旅行の途に就かれる處です。

十三日(木曜日)午後八時より市公會堂に於て同博士の講演があります。演題は撤退日本人の將來に關するものであります。

一九四四年七月十三日

所長より

各ブロックマネジャー宛

トバズ参る員会亦同公報

一九四三年七月六日午後一時五十分
司会者 植原勝假議長

缺席：入来(2)流来(12)佐々木(23)五十凡(24)平田(27)

島本(36)戸田(37)咽原(39)長田(40)

二前参る員会記録は朗讀通り承認さる。

三文通る頂

一假所長べん氏より乗合自働車の部分品入手に長日を要すると説明さる。

二べん假所長よりロンドン博士に同じ参る員会を要求によりマヤ中央局長に電信せし返る同封さる。

三ブランクオニテ六代表島本陳徳参る員より辞表提出さる。

四ハートマン参る員よりセラー内は旅ける各國作統一に同じ返る。

五小畑房江嬢より緊急の場合短期出版用書製作製法修正を懇請さる。

六ブランクオニテ九住民より参る員が最善の方法で使用する様に金於五丹を参る員会に寄附さる。

七ブランクオニテ十より新選参る員河本武雄氏を紹介さる。

八パサデナの米國主義者友より自由平等主義の行動を報告さる。

四行さる

一假議長より参る員会非常備委員及委員長を任命さる。

二この假期間は通間である。

三参る員会がブランクオニテ九より寄附した金に對感謝し、感謝狀をブランクオニテ九に送る事に決議さる。

四或住者より重病或は死に同じする様な取急の場合短期出版書も大を得る方法の変更或は修正を提出さる。

五議長は是等の方式を除く事に議長と研究する。

六議長より参る員会の方五回戦債券募集に對する広告の件を提出さる者と説明さる。

七各々この資金を七支給せねばならぬとあればその必要は否と決定さる。

八各参る員は七名の司法委員及教名、スベイン領る員委員を参る員会が選定する局次会に各國の推薦を提出する様依頼さる。

午後四時五十分同会

植原勝假議長

片井三夫書記

トバダ参事員会才一回公報

一九四年七月三日午後二時四十八分

司会者 藤井美壽次事務支配人

榎原勝假議長

一 缺席：八来(7)五十凡(26)川(34)戸田(37)咽原(39)

二 榎原勝参事員を議長、藤田清土助参事員を副議長として次
二週間互選する 榎原勝議長司会、佐を臨る。

三 前参事員会記は訂正通り承認する。

四 文通する項

一 マーカフリー 假看護婦長より彼等滞職中興へした参事員会親切
及援助に對し感謝する。

五 行する

一 参事員会はマーカフリー 假看護婦長の奉仕に對し感謝狀を送ることに
決定す。

二 才百大隊員である比賀三平兵を前参事員会外交委員長橋本
氏より紹介する。

彼は氏のトバダ訪問の目的及時回割を説明する。

三 議長より榎和田敬筑市、沼尻、神崎各参事員を人々委員
員に任命し、假中常備委員を選定する為集会后議して
貰ふ様依頼する。

午後三時四十分閉会

八上

新記

藤井美壽次